

2025年11月9日
11月第二主日礼拝式



「忘れないで」

1. 忘れないで いつもイエス様は
きみのことを みつめている
だからいつも 絶やさないで
胸の中の ほほえみを
2. だけどいつか 激しい嵐が
きみのほほえみ 吹き消すでしょ
だからいつも 離さないで
胸の中の みことばを

【次】

「忘れないで」

3. 忘れないで 悲しみの夜は
希望の朝に かわることを
だからすぐに とりもどして
いつものきみの ほほえみを

「注がれた愛」

愛する友のために いのちを捨てる
これほど大きな愛があるだろうか
逃(のが)れる道もなく なにかを求めて
わたしがまだ罪の中にいたとき

キリストがわたしのために
いのちを投げだして
その愛を 永遠の愛を
心に注がれた～～～♪

新聖歌359番 「罪深きこの身を」

1 罪深きこの身を 愛して

イエスは木に掛(か)かられ いのち捨てぬ
なんたる愛ぞ！ 愛ぞ！

涙に ただむせびて イエスを 見るほかなし

* 救いはこの身に 成就(じょうじゅ)しぬ

われ いかで疑(うたが)わん 主のみわざを

2 われ 滅(ほろ)びの中に ありしを

主はさがし求めぬ 長き月日(つきひ)

今やわれの罪は 跡(あと)なく

主の血にて洗われ きよくなれり

* (くりかえし)

【次】

新聖歌359番 「罪深きこの身を」

3 今 心にあるは 安(やす)きと
主に献(ささ)ぐる感謝の きよきしらべ
われ いかで再び かいらくを
愛して 主の御許(みもと)を 去り行くべき

* 救いはこの身に 成就(じょうじゅ)しぬ
われ いかで疑(うたが)わん 主のみわざを

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌 391番 「皆 献げまつり」

- 1 皆(みな) ささげまつり わがものはなし
永遠(ときわ)に御旨(みむね)に したがいまつらん
* われ ささぐ みな ささぐ
御前(みまえ)に 主よわれ みな ささぐ
- 2 みな ささげまつり へりくだるのみ
主よ今この身(み)を 受け入れたまえ(*くりかえし)
- 3 みな ささげまつり きよめを求む
主よ今 みたまに 満(み)たしめたまえ(*くりかえし)
- 4 みな ささげまつり 炎(ほのお)来たれり
恵みをたたえよ みいつをほめよ (*くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン